

1 策定方針

北陸新幹線福井開業、新型コロナウイルス感染症対策など、本市を取り巻く様々な環境の変化に伴う行政需要に適切に対応するため、実施期間を第八次福井市総合計画と合わせ、総合計画を着実に推進するための行財政改革の取組として策定する。

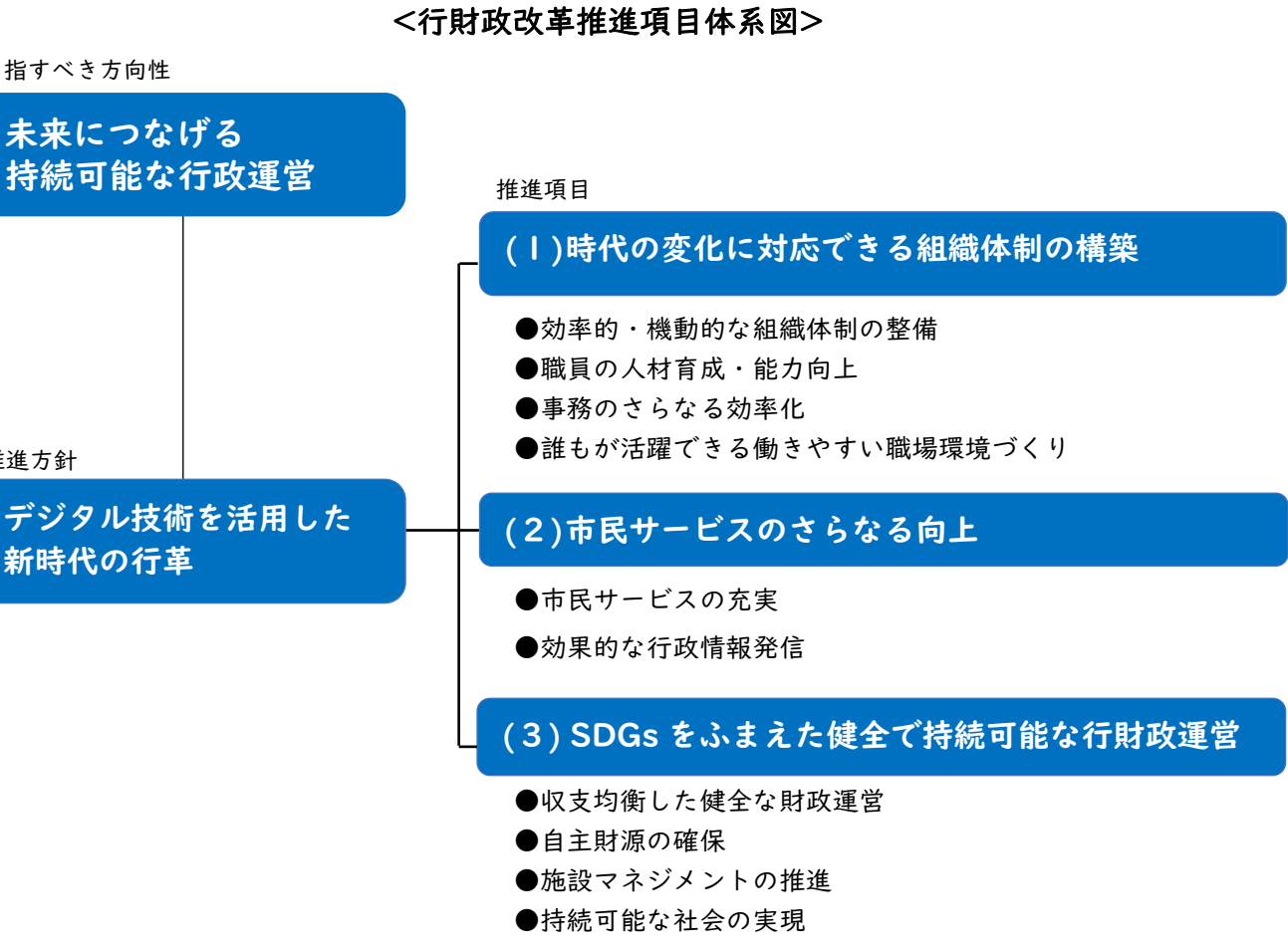
2 計画期間

令和4年度（2022年度）から8年度（2026年度）までの5年間。

3 今後の行財政改革の方向性

総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現を目指して、様々な課題解決に向けた行政組織を構築するとともに、市民サービスのさらなる向上や健全な財政運営、SDGs の推進に積極的に取り組むことで、「未来につなげる持続可能な行政運営」を進めていく。

また、「デジタル技術を活用した新時代の行革」を推進方針として掲げ、デジタル化（DX）を進めることで、住民の利便性向上と事務のさらなる効率化を図る。



4 推進項目・取組項目

	推進項目	No.	取組項目
（1）時代の変化に対応できる組織体制の構築	●効率的・機動的な組織体制の整備		
		1	職員定数の適正化と効率的かつ機動的な組織編成
		2	適材適所の人材配置
	●職員の人材育成・能力向上		
		3	新 多様な人材の確保
		4	時代の変化に対応できる職員の育成
		5	技術継承と技術力の向上
		6	新 職員の施策立案・財務事務能力の向上
	●事務のさらなる効率化		
		7	新 情報システムの標準化・共通化
（2）市民サービスのさらなる向上		8	新 文書事務の効率化、ペーパーレス化、電子化の推進
		9	新 新技術の業務への活用
	●誰もが活躍できる働きやすい職場環境づくり		
		10	多様な働き方や価値観を実現できる職場環境の構築
	●市民サービスの充実		
		11	新 デジタル化による市民サービスの向上
		12	新 情報セキュリティ対策の徹底
		13	窓口サービスの充実
		14	新 重層的支援体制の整備
	●効果的な行政情報発信		
（3）SDGs をふまえた健全で持続可能な行財政運営		15	「伝わる広報」を意識した情報発信の充実
		16	首都圏への情報発信の強化
	●収支均衡した健全な財政運営		
		17	目指すべき財政水準の達成
		18	効率的な公的資金管理
		19	公営企業の経営健全化
	●自主財源の確保		
		20	収入確保策の推進
		21	市税収納率の向上
	●施設マネジメントの推進		
		22	施設マネジメントの推進
	●持続可能な社会の実現		
		23	新 持続可能な行政の全庁的な推進